

平成25年11月29日

広島県立美術館長
越智 裕二郎 様

広島県立美術館評価委員会
委員長 蓑 豊

平成24年度事業実績の評価について（通知）

標記の件については、平成25年10月7日に開催した当委員会において別紙のとおり行ったところですが、評価に際して各委員から出された主な意見は次のとおりですので、これに留意して美術館運営を行ってください。

経営方針1 多くの人に上質の美的体験を提供

- 来館者の年齢・性別などの基本データを悉皆調査するなどにより、入館者数が目標に対し未達となった原因分析を精緻に行うこと。
- 特別展の有料率は全国平均と比較して非常に高いと考えられるが、招待券の配布先や数量については、入館者増への寄与度を分析したうえで効果的に行うこと。

経営方針2 創作活動の発表機会を充実

- 講堂の利用率は、目標を達成しているが、施設の有効活用の観点からはまだ低い水準にある。効果的なPR方法について検討すること。学校の団体利用の際に講堂で解説を行った場合は、これを利用率に含めること。
- 地元・若手作家への支援については、美術館のフリースペースなどを活用するなど、更なる取組みに期待する。また、地元の美術系大学と連携を図ることも検討すること。

経営方針3 多様な美術教育の普及活動を展開

- 学校の美術館利用の促進は、補助金を活用した取組は終了したが、引き続きその拡充に努めること。
- 教員に対する普及活動の充実を図ること。

経営方針4 美術館情報を積極的に発信

- SNS（ツイッター・フェイスブック等）との連携強化や特典を付与することにより、ホームページのアクセス数の更なる向上を図ること。
- 広島市内3美術館で連携して、修学旅行生の呼び込みを図ること。

経営方針5 効率的な組織運営と拠点性の向上

- 調査・研究の発表件数は、学芸員の活動の成果を活字化して発表するものであり、実績が減らない努力をすること。